

「蒲都市イネープリングシティ基本計画」パブリックコメント意見一覧（市の回答） パブリックコメント

No	頁	項目	提出者	提出意見	意見に対する考え方
1	全体	全体	A	最後まで読んでみて、何となく市がやりたいことは分かりました。 アプリで市内にある公共物などの写真をアプリで送るというきっかけを作り、市内を歩くという健康増進につなげ、収集した情報から公共物などの必要な修繕やモニメントなどの市民が求めている新しい公共物を設置するという一連の流れを生み出したいという理解でした。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 ご意見のとおり、イネープリングシティとは、人々が幸福を実感できるものや場所などがまちに増え、人がまちに出かけ、つながることにより、健康が広がる市民参加型の新しいまちづくりの概念です。アプリは人々が幸福や健康を実感できる要素を見つけるための手段であり、アプリによって集められた写真や投稿データを分析しまちづくりに活かします。市民の地域への想いや蒲都市の地域資源等を最大限に生かされた公共物を含むまちづくりを検討してまいります。
2	4・5・6	第1章	A	最初のページにある説明で、聞き慣れない新しい横文字をさらに新しい横文字で説明しており、結局のところ何が何なのかわからない。わかりやすい日本語で説明してほしい。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 「イネープリングシティ」「ウェルビーイング」などの言葉を記載させていただいておりますが、これらは新しい概念であり、一般的に聞きなれない用語であると認識しております。今後はこの取り組みを周知し進める中で、市民のみならずまに分かりやすい説明に努めてまいります。
3	全体	全体	A	読みづらく発音しづらい横文字の部署名や、計画説明は理解するのに支障になるので控えてほしい。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 No2の回答と同様とさせていただきます。
4	9・46・47	第1章	B	ウェルビーイング推進本部（作業部会含む）はタスクフォースでしょうか。計画書作成までのタスクフォースであれば理解出来ますが、計画書が出来ても存在する意図がわかりません。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 ウェルビーイング推進本部の所掌事務として「（１）ウェルビーイング推進に係る取組の方針の共有及び運用に関すること。（２）ウェルビーイング推進に係る各部局の取組に関する協議及び総合調整に関すること。（３）その他ウェルビーイング推進のために必要な事項に関すること。」としております。計画策定を目的とした組織ではなく、全庁的に本取り組みを進めるための横断施策として取り組む核となる組織としておりますので、計画策定後も検討を続けてまいります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
5	9・46・47	第1章	B	ウェルビーイング推進強化の意とすることであればウェルビーイング推進課を「部」に昇格すれば済むことでは無いでしょうか。ウェルビーイング推進課という様の隣りにウェルビーイング推進本部様を構成して庶務は推進課の役割という組織では、推進課のモチベーションは下がりませんか。推進課の立ち位置がよく解りませんか。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 今年度、市長・副市長直下の新たな組織として「ウェルビーイング推進課」を設置し、全庁的な連携のもと取り組みを進める体制で進めています。またウェルビーイング推進本部において各部各課での取り組みを情報共有しながら横断的な連携体制で進めていきます。いただいたご意見につきましては、参考にさせていただきます。
6	9・46・47	第1章	B	計画書の中でそれぞれの役割、責務の説明が必要です。 ホームページでは「全庁的に協議をすすめる為に、ウェルビーイング推進本部を立ち上げております。本部長の鈴木市長のもと、「健康」と「幸福」を軸としたまちづくりのために、各部局の部長級職員が参集し、協議しております。」ということですが参集と協議だけでは「会議体」で済みます。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 No4の回答と同様とさせていただきます。
7	46・47	資料	B	蒲都市ウェルビーイング推進本部設置要綱の第2条（１）「運用に関すること」（２）「各部局の取組に関する協議および総合調整」の意味は？	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 蒲都市ウェルビーイング推進本部設置要綱の第2条（１）「運用に関すること」（２）「各部局の取組に関する協議および総合調整」については、所管部署であるウェルビーイング推進課での取り組みに加えて、市役所の各部の取り組みの進捗状況を報告し合い、意見交換や専門家の意見を聞くなどして施策をブラッシュアップするよう検討しております。また、イネープリングシティワークから導かれた要素を施策として実装するためには多くの関連各部各課との調整が必要となります。こういった事業の運用に係る方向性の確認や取り組みにかかる調整について、推進本部内で合意形成を図ってまいります。
8	46・47	資料	B	蒲都市ウェルビーイング推進本部設置要綱の第5条 作業部会を置くことができる⇒作業部会を置くことは、又、推進本部設置期間を明記することも必要と思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 設置要綱の文言については過去の協議会等の設置要綱や他市町村の要綱等を参考にしており、個々の作業部会の運営が流動的であることも含めこのままの表現とさせていただきます。 ご理解のほどよろしくお願いいたします。
9	17	第2章	B	第2章 現状と課題の中の標記について『健康を判断する条件として、幸福の概念は現状では優先度が低い』という表現だが計画書では『優先度は低い』との表現の方が適切だと思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 こちらの標記については市民意識調査の資料から記載しており、優先度が低いと言い切ることが難しいため高くないという表現にさせていただいております。 ご理解のほどよろしくお願いいたします。
10	17	第2章	B	第2章 蒲都市市民の現状と課題 2課題と対策の必要性 （３）ウェルビーイングの課題で「現状では健康の条件に幸福の概念の優先度は必ずしも高くない結果でしたが、市民の幸福度を高め、幸福を感じながら、自ずと健康になるまちの実現はウェルビーイング達成のために重要」と言う表現について事実を曲げる論法で間違った施策になるので、削除した方がよいと思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 市民意識調査の結果から、健康感を判断する際に重視する事項として、幸せを感じることは結果としては少ないという結果でした。この事実を曲げるということではなく、幸福感を感じて健康を促す取り組みは人々のウェルビーイング達成には必要であるという理解をいただいて進めるといった認識で記載しております。ご指摘いただいた内容について表現方法について一部修正・削除し掲載してまいります。
11	22	第3章	B	第3章 2.2の棒グラフの見方がよく解りません。グレーは投稿数と推定できますが、ピンク・緑・オレンジ・青に関しては事例で説明しないと理解出来ません。例えばベンチにおいてHappy/Unhealthyとはどういう状態なのか、UnHappy/healthyとはどういう状態なのかグラフでは理解出来ません。説明文を加えていただきたい。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 ご意見いただいた、グラフや、Happy/healthy Happy/Unhealthy UnHappy/Unhealthy UnHappy/healthyの4象限の代表的な投稿例を載せ、わかりやすく記載いたします。
12	22～29	第3章	B	Happy/healthy Happy/Unhealthy UnHappy/Unhealthy UnHappy/healthyの4分類分けしていますが単純にGood/NoGoodで区分けした方が理解しやすいとおもいます。 理由は、単純にこの計画は、Goodと判定されたファクターを拡大する。NoGoodと判定されたファクターを改善するか、廃棄するかを推進本部で検討、実行すれば自ずとイネープリングシティに近づくということではありませんか。何か難しくしているように思えてなりません。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 蒲都市が目指すイネープリングシティの形成については「健康」を軸とした健康施策の取り組みだけでなく、さらに「幸福」を軸として健康を高めることを目指しております。この取り組みを進める中で現状の様に4象限で分析を進めることが必要であるため、こちらについては引き続き現状のまま分析を続けたいと思います。 ご理解のほどよろしくお願いいたします。
13	全体	全体	B	提案として、ファクターの数が増えれば精度アップが期待できますのでファクターの判定に生成AIの導入を検討していただきたい。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 今後の施策を検討する際の参考にさせていただきます。
14	52	資料	B	資料編 人口で令和5年が推定値になっています。確定値が出ていますので置き換えたほうが良いと思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 本計画の資料編で掲載した人口については各年の10月1日の住民基本台帳を掲載しており、令和5年までは確定値で記載しております。世帯数の棒グラフについては令和5年の住民基本台帳数値を記載いたします。